

## **第3部 介護保険サービス未利用者調査**



## 第3部 介護保険サービス未利用者調査

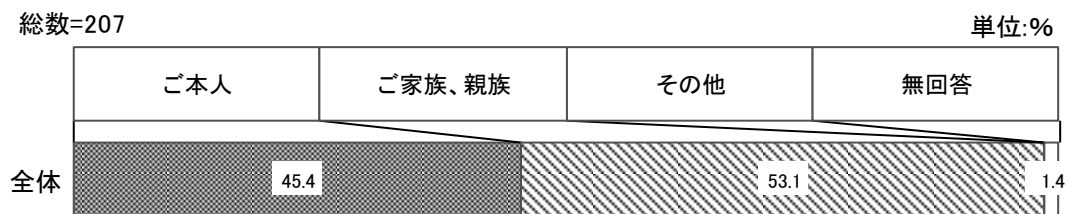
### 1 本人や家族の状況について

#### (1) 調査票の回答者

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。○をつけてください。

この調査票の記入者は、「ご家族、親族」の割合が53.1%で最も高く、次いで「ご本人」が45.4%となっている。

図表3-1-1 回答者



「ご家族、親族」の内訳は、「子」の割合が43.6%で最も高く、次いで「配偶者」が40.9%、「その他の親族」6.4%となっている。

図表3-1-2 回答者「ご家族、親族」内訳

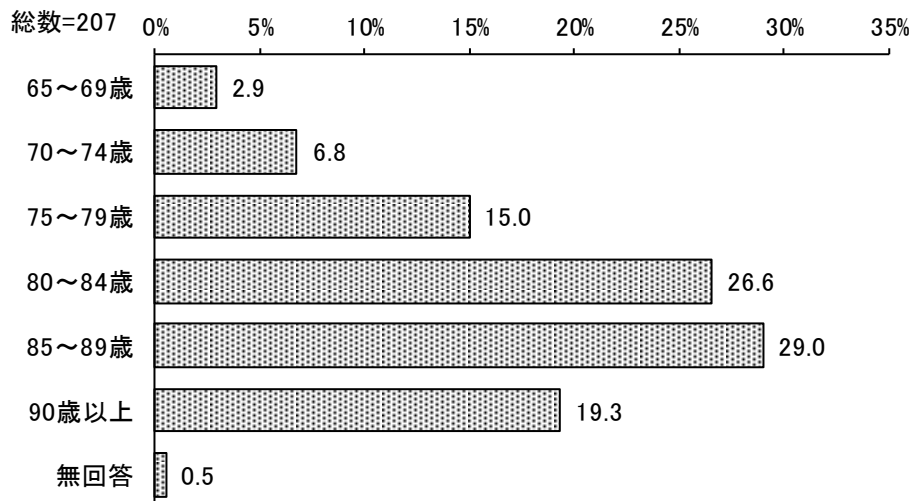


## (2) 年齢

問2 あなたの令和元年10月1日現在の満年齢を教えてください。(〇は1つ)

「85～89歳」の割合が29.0%で最も高く、次いで「80～84歳」が26.6%、「90歳以上」が19.3%となっている。全体では、前期高齢者（74歳以下）が9.7%、後期高齢者（75歳以上）が89.9%である。

図表3-1-3 年齢



## (3) 性別

問3 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

性別は、「女性」が58.9%、「男性」が39.1%となっている。

図表3-1-4 性別

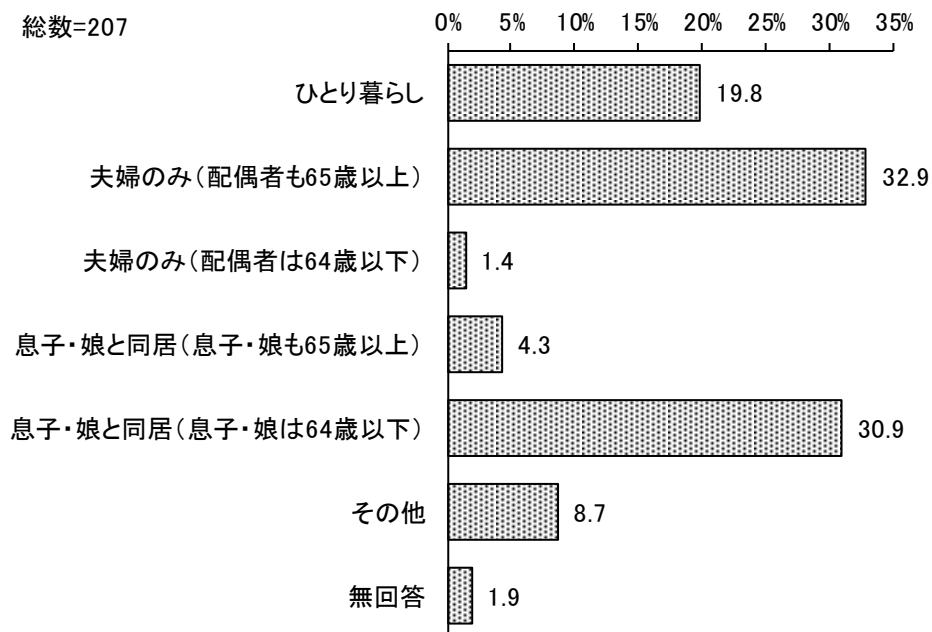


## (4) 家族構成

問4 あなたの家族構成を教えてください。(〇は1つ)

家族構成は、「夫婦のみ(配偶者も65歳以上)」の割合が32.9%最も高く、次いで「息子・娘と同居(息子・娘は64歳以下)」が30.9%、「ひとり暮らし」が19.8%となっている。

図表3-1-5 家族構成



回答者の家族構成を性別で見ると、「夫婦のみ（配偶者も65歳以上）」と「夫婦のみ（配偶者は65歳以下）」を合わせた「夫婦のみ」の合計は、男性が56.8%、女性が18.8%であり男性が女性を大きく上回っている。一方で「ひとり暮らし」は男性が4.9%、女性が30.3%で女性が男性を大きく上回っている。

図表3-1-6 家族構成（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

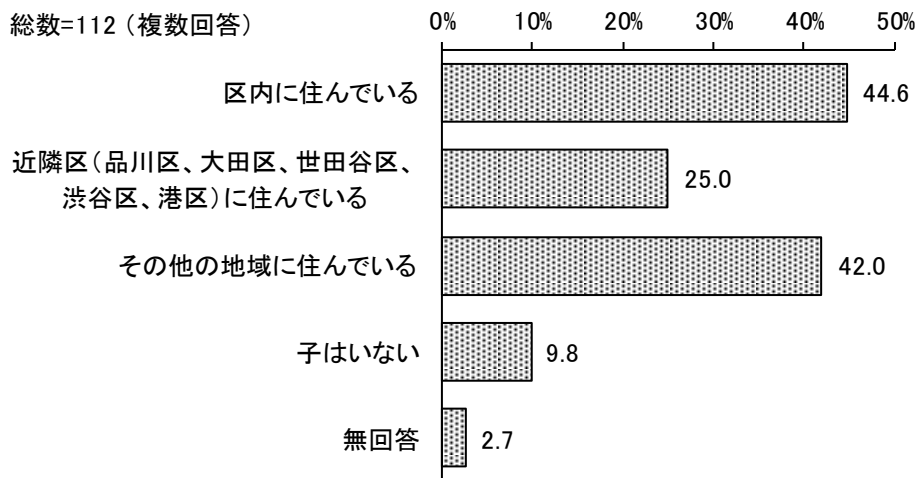
		全体	ひとり暮らし	夫婦のみ（配偶者も65歳以上）	夫婦のみ（配偶者は64歳以下）	息子・娘と同居（息子・娘も65歳以上）	息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）	その他	無回答
全体		207 100.0	41 19.8	68 32.9	3 1.4	9 4.3	64 30.9	18 8.7	4 1.9
性別・年齢階級	男性全体	81 100.0	4 4.9	44 54.3	2 2.5	5 6.2	23 28.4	2 2.5	1 1.2
	65～74歳	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	-
	75歳以上	73 100.0	3 4.1	42 57.5	1 1.4	4 5.5	21 28.8	1 1.4	1 1.4
	女性全体	122 100.0	37 30.3	22 18.0	1 0.8	4 3.3	40 32.8	16 13.1	2 1.6
	65～74歳	11 100.0	2 18.2	2 18.2	-	-	4 36.4	3 27.3	-
	75歳以上	111 100.0	35 31.5	20 18.0	1 0.9	4 3.6	36 32.4	13 11.7	2 1.8
無回答		4 100.0	-	2 50.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0

【問4で「1. ひとり暮らし」「2. 夫婦のみ（配偶者も65歳以上）」「3. 夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」と回答した方におたずねします。】

問4-1 あなたには、別居しているお子さんはいらっしゃいますか。（〇はいくつでも）

別居している子は、「区内に住んでいる」の割合が44.6%で最も高く、次いで「その他の地域に住んでいる」が42.0%、「近隣区（品川区、大田区、世田谷区、渋谷区、港区）に住んでいる」が25.0%となっている。

図表3-1-7 子の有無と居住地

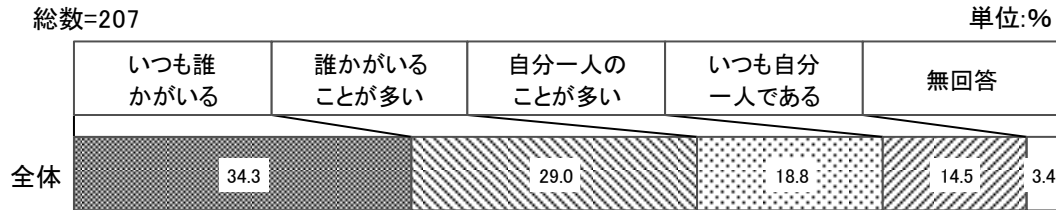


## (5) 日中の家族の状況

問5 あなたの家には、日中、他のご家族がいらっしゃいますか。(〇は1つ)  
 ※別居しているご家族が訪問される場合も含みます。

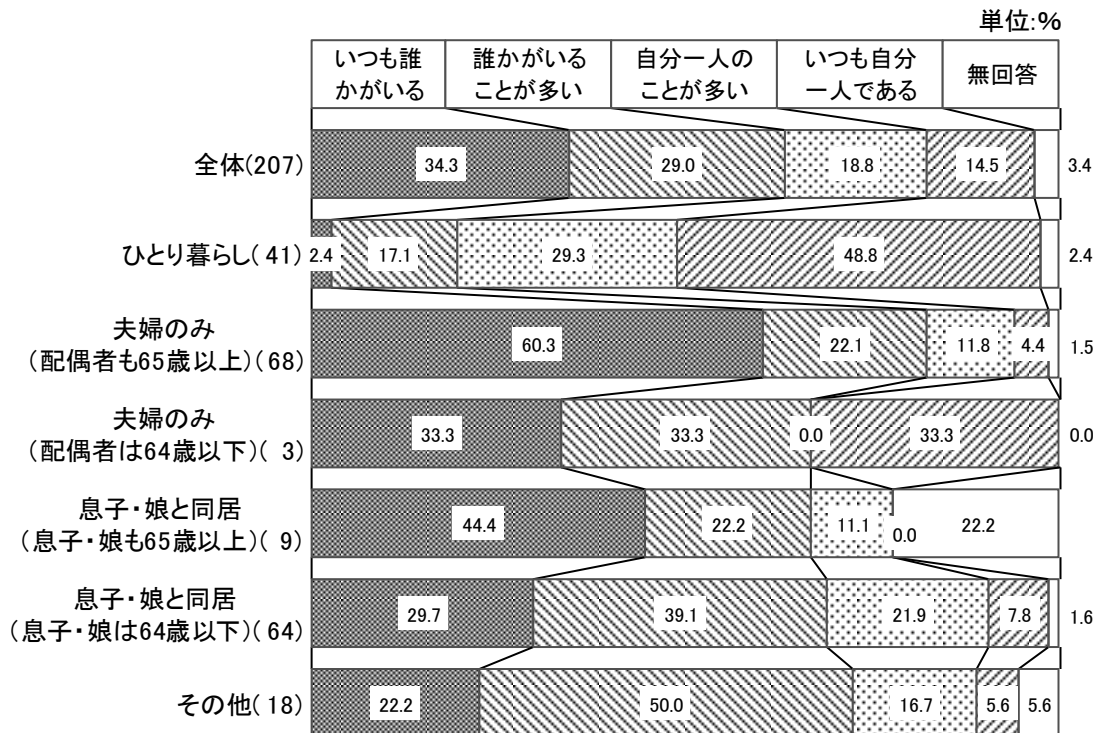
日中の家族の状況は、「いつも誰かがいる」の割合が34.3%で最も高く、次いで「誰かがいることが多い」が29.0%、「自分一人のことが多い」が18.8%となっている。

図表3-1-8 日中の家族の状況



家族構成別にみると、「いつも誰かがいる」と「誰かがいることが多い」を合わせた「誰かがいる」の割合は、同居家族がいる場合は66.6%~82.4%であるが、「ひとり暮らし」では19.5%であり、同居家族がいる人と大きく乖離している。また、「いつも自分一人である」の割合は「ひとり暮らし」が48.8%で、他の家族構成を大きく上回っている。

図表3-1-9 日中の家族の状況(家族構成別)



(家族構成別が無回答の4人は掲載していない)

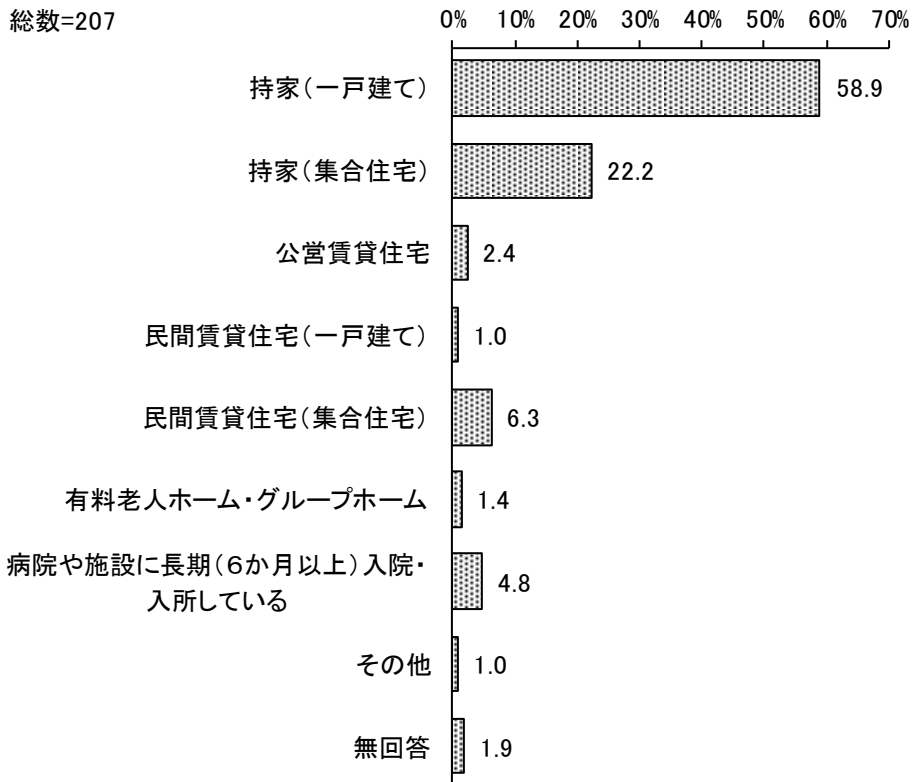


(6) 住まいの種類

問6 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

住まいの種類は、「持家(一戸建て)」の割合が58.9%で最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が22.2%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が6.3%となっている。

図表3-1-10 住まいの種類

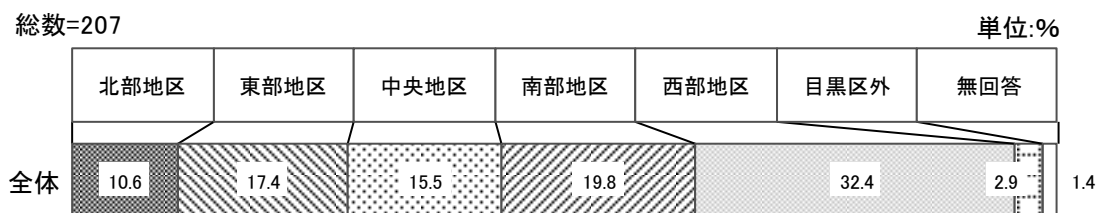


(7) 居住地区

問7 あなたは、どの地区にお住まいですか。地区名の番号に〇をつけてください。(〇は1つ)

回答者の居住地区は、「西部地区」が32.4%で最も高く、「北部地区」が10.6%で最も低い。

図表3-1-11 居住地区

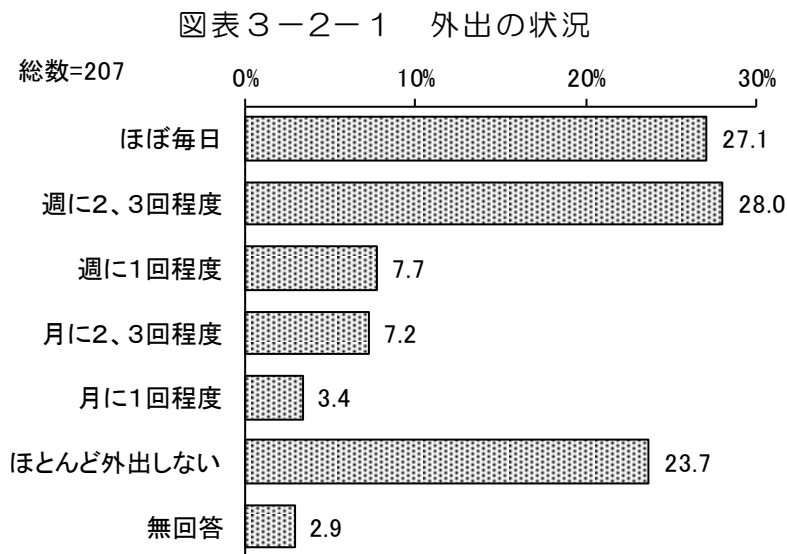


## 2 日常生活の状況などについて

### (1) 外出の状況

問8 近所への買い物、散歩、通院などを含め、外出することはどのくらいありますか。  
(〇は1つ)

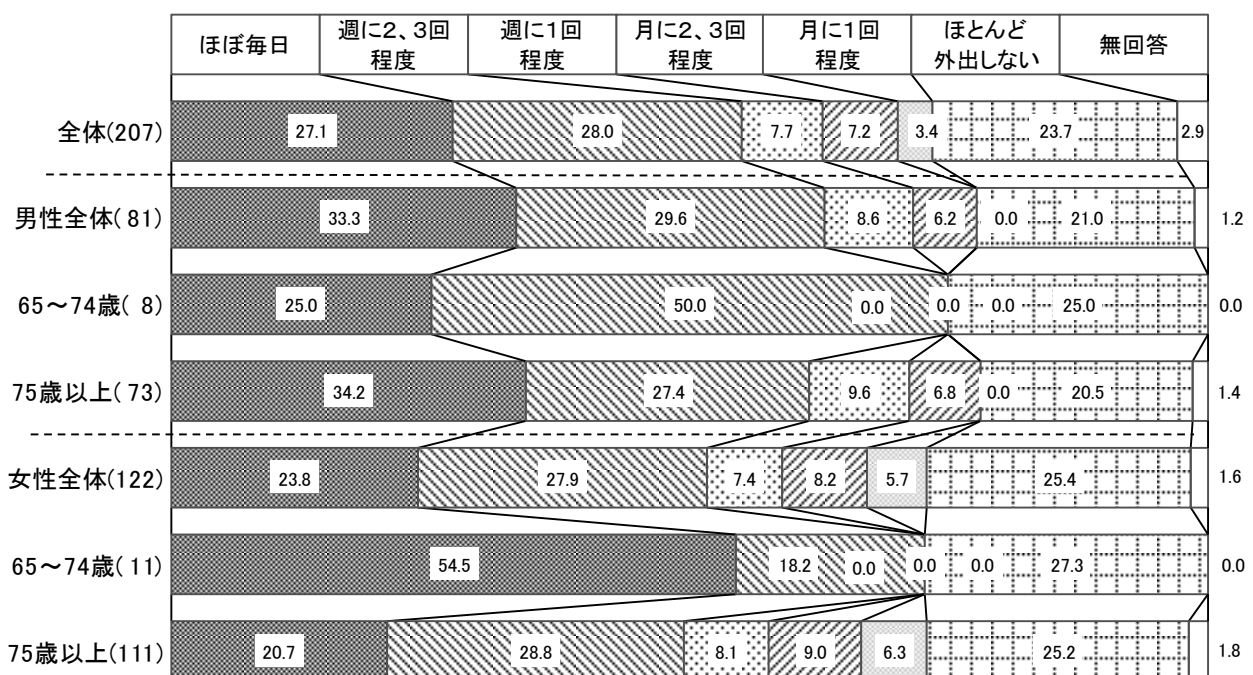
外出の状況は、「週に2、3回程度」が28.0%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が27.1%となっている。一方で「ほとんど外出しない」は23.7%となっている。



性別で見ると、「ほぼ毎日」、「週に2、3回程度」とも、男性が女性を上回っており、両者を合わせた週2、3回以上外出する人では男性が11.2ポイント上回っている。

図表3-2-2 外出の状況（性別・年齢階級別）

単位:%



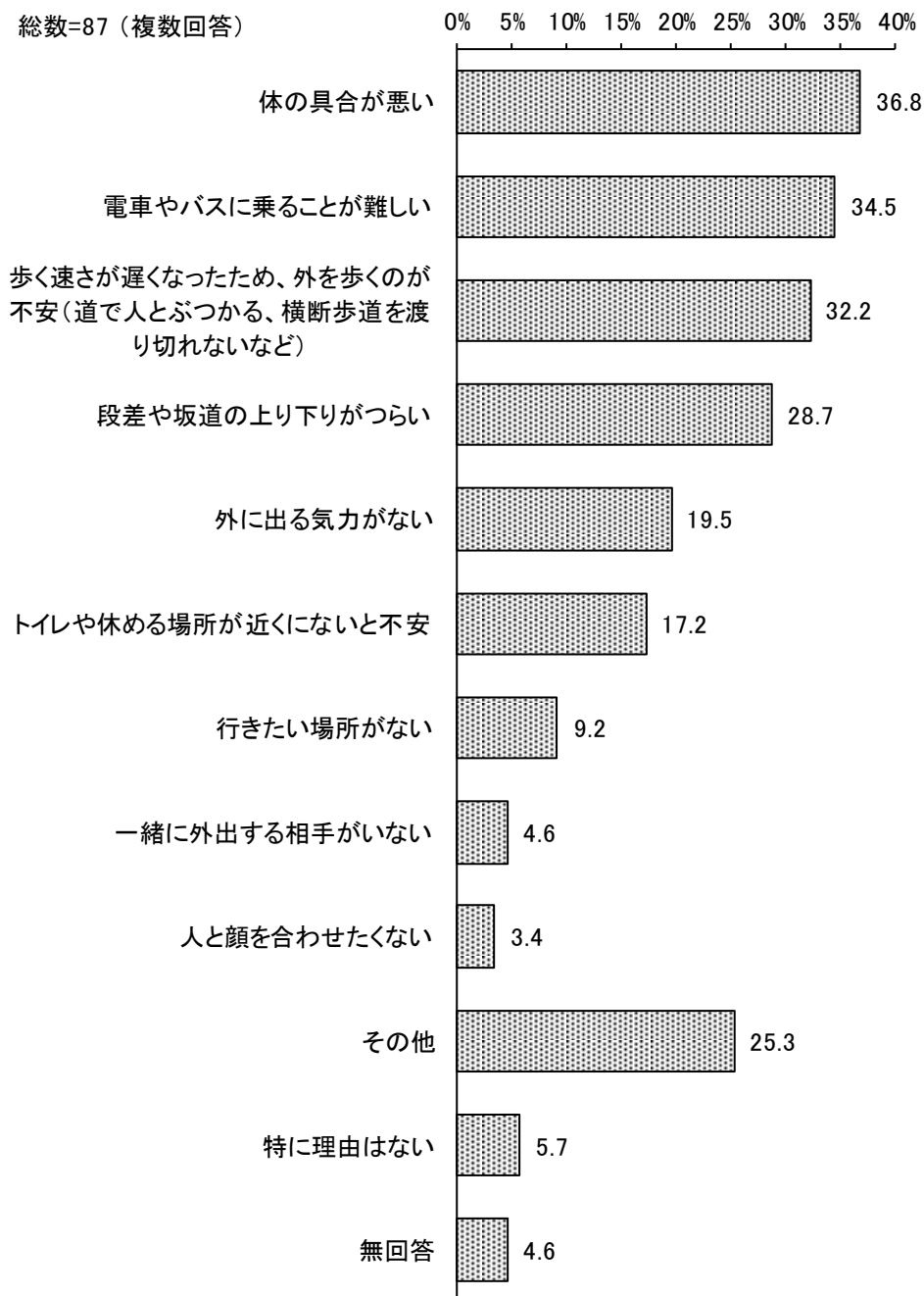
(性別・年齢階級が無回答の4人は掲載していない)

【問8で「3. 週に1回程度」「4. 月に2、3回程度」「5. 月に1回程度」「6. ほとんど外出しない」と回答した人におたずねします】

問8-1 外出をためらってしまう理由は何ですか。(〇はいくつでも)

外出をためらう理由は、「体の具合が悪い」が36.8%で最も高く、次いで「電車やバスに乗ることが難しい」が34.5%、「歩く速度が遅くなったため、外を歩くのが不安(道で人とぶつかる、横断歩道を渡り切れないなど)」が32.2%となっている。

図表3-2-3 外出をためらう理由

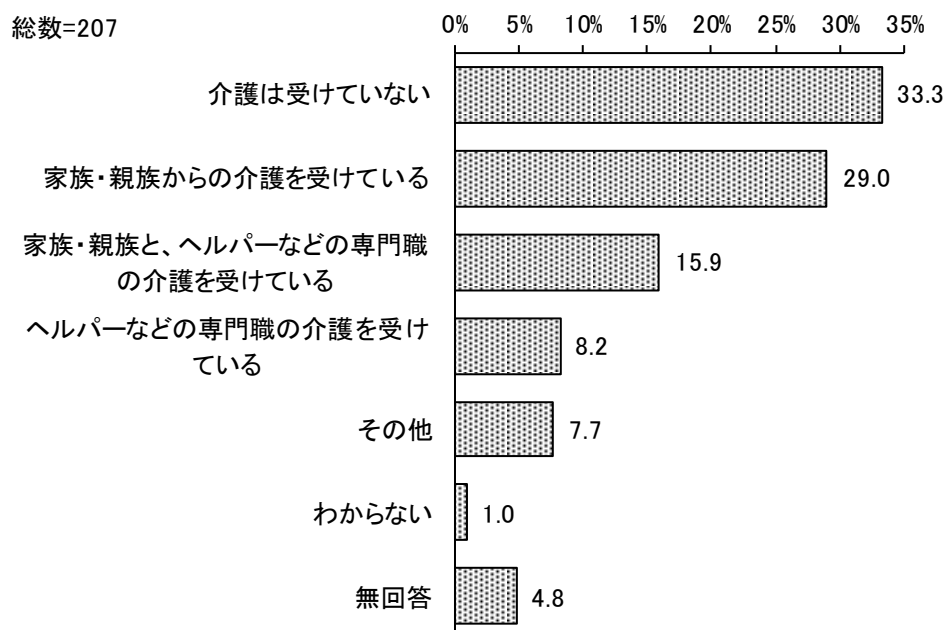


## (2) 介護の状況

問9 あなたは、普段の生活で、どなたかの介護を受けていますか。(○は1つ)

「介護は受けていない」が33.3%で最も高く、次いで「家族・親族からの介護を受けている」が29.0%、「家族・親族と、ヘルパーなどの専門職の介護を受けている」が15.9%となっている。

図表3-2-4 介護の状況

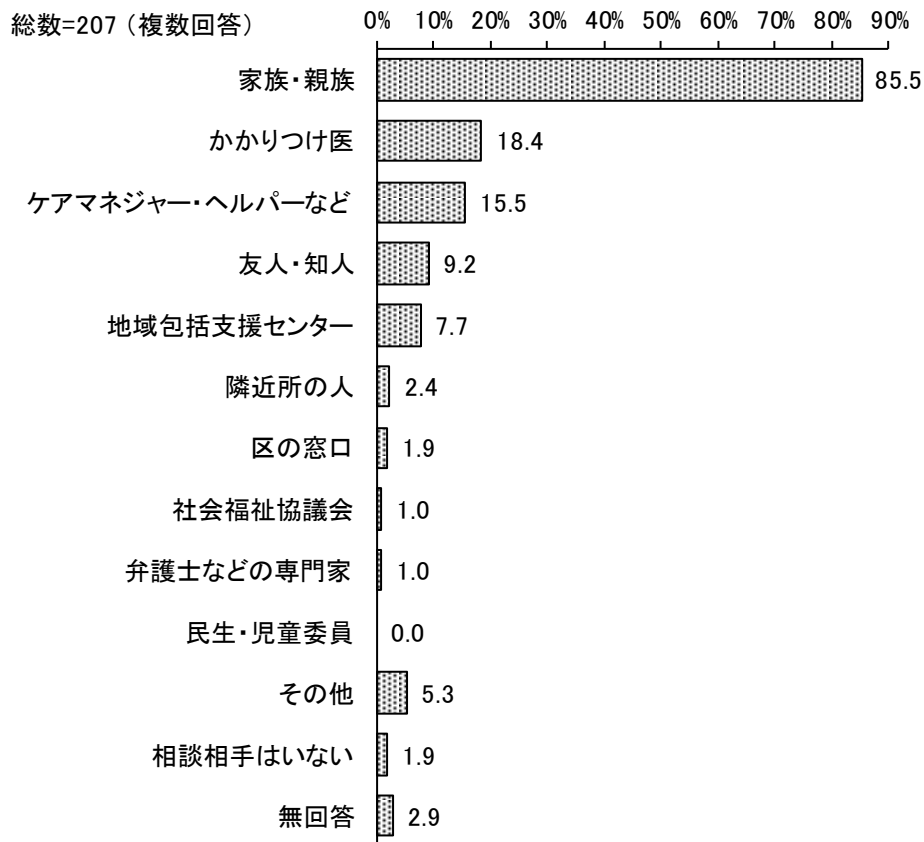


(3) 相談相手

問10 日常生活の中で困ったり、将来に不安を感じたとき、だれに話を聞いてもらったり、相談しますか。(〇はいくつでも)

相談相手は、「家族・親族」が85.5%で最も高く、次いで「かかりつけ医」が18.4%、「ケアマネジャー・ヘルパーなど」が15.5%となっている。

図表3-2-5 相談相手



家族構成別でみると、すべての家族構成で「家族・親族」と回答した人の割合が最も高い。また、「かかりつけ医」、「ケアマネジャー・ヘルパーなど」と回答した割合は、「ひとり暮らし」が他の家族構成よりも高い。

図表 3-2-6 相談相手（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	家族・親族	友人・知人	隣近所の人	民生・児童委員	かかりつけ医	ケアマネジャー・ヘルパーなど
全体		207 100.0	177 85.5	19 9.2	5 2.4	-	38 18.4	32 15.5
家族構成	ひとり暮らし	41 100.0	34 82.9	7 17.1	2 4.9	-	11 26.8	10 24.4
	夫婦のみ (配偶者も65歳以上)	68 100.0	57 83.8	6 8.8	-	-	8 11.8	8 11.8
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-
	息子・娘と同居 (息子・娘も65歳以上)	9 100.0	8 88.9	1 11.1	-	-	1 11.1	1 11.1
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	64 100.0	58 90.6	2 3.1	2 3.1	-	13 20.3	8 12.5
	その他	18 100.0	16 88.9	3 16.7	1 5.6	-	4 22.2	3 16.7
	無回答	4 100.0	2 50.0	-	-	-	1 25.0	2 50.0
		地域センター 包括支援	区の窓口	社会福祉協議会	弁護士などの 専門家	その他	相談相手はいない	無回答
全体		16 7.7	4 1.9	2 1.0	2 1.0	11 5.3	4 1.9	6 2.9
家族構成	ひとり暮らし	4 9.8	1 2.4	2 4.9	-	3 7.3	-	-
	夫婦のみ (配偶者も65歳以上)	6 8.8	3 4.4	-	-	3 4.4	2 2.9	3 4.4
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	-	-	-	-	-	1 33.3	-
	息子・娘と同居 (息子・娘も65歳以上)	-	-	-	2 22.2	-	-	1 11.1
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	3 4.7	-	-	-	3 4.7	1 1.6	1 1.6
	その他	3 16.7	-	-	-	2 11.1	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	1 25.0

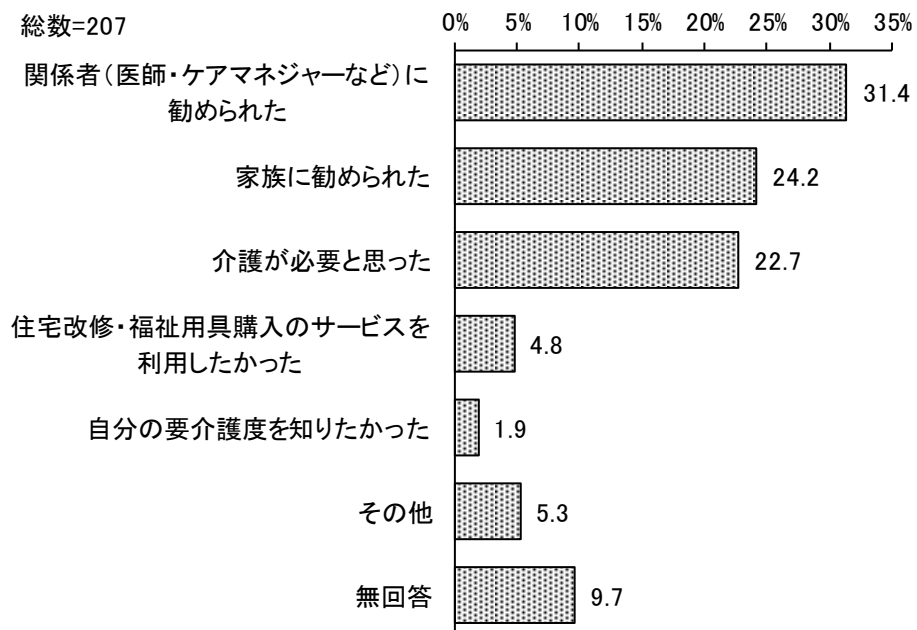
### 3 介護保険の認定状況・利用などについて

#### (1) 要介護認定の申請理由

問11 要介護認定の申請を行った理由は何ですか。(〇は1つ)

要介護認定の申請理由は、「関係者（医師・ケアマネジャーなど）に勧められた」が31.4%で最も高く、次いで「家族に勧められた」が24.2%、「介護が必要と思った」が22.7%となっている。

図表3-3-1 要介護認定の申請理由

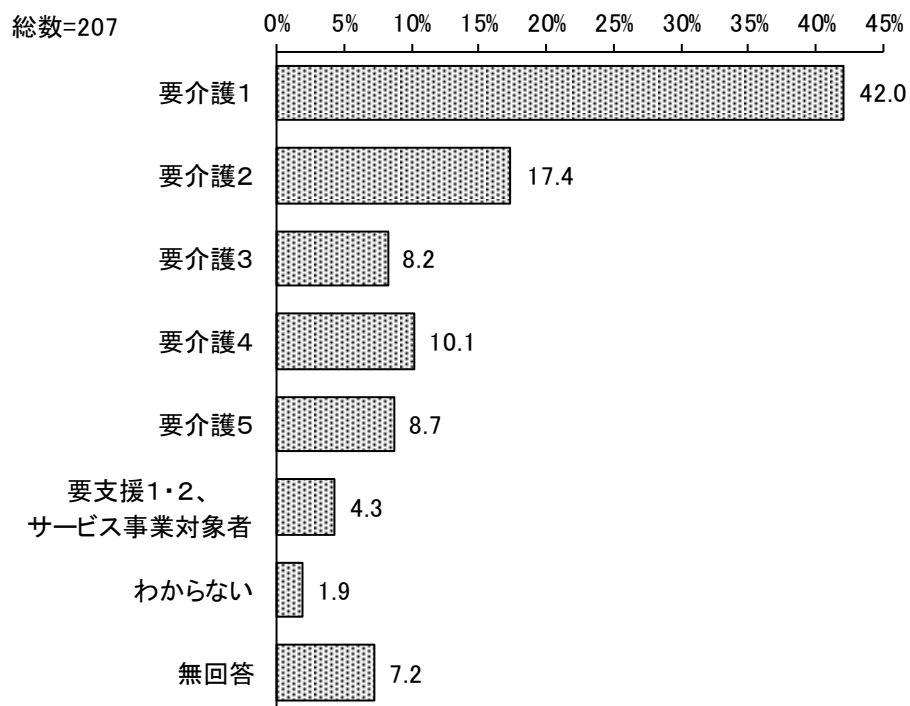


## (2) 要介護度

問12 現在の要介護度を教えてください。(○は1つ)

「要介護1」が42.0%で最も高く、次いで「要介護2」が17.4%、「要介護4」が10.1%となっている、

図表3-3-2 要介護度





性別で見ると、「要介護1」では男性39.5%、女性45.1%、「要介護5」では男性4.9%、女性11.5%であり、それぞれ女性が男性を5.6ポイント、6.6ポイント上回っている。

図表3-3-3 要介護度（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

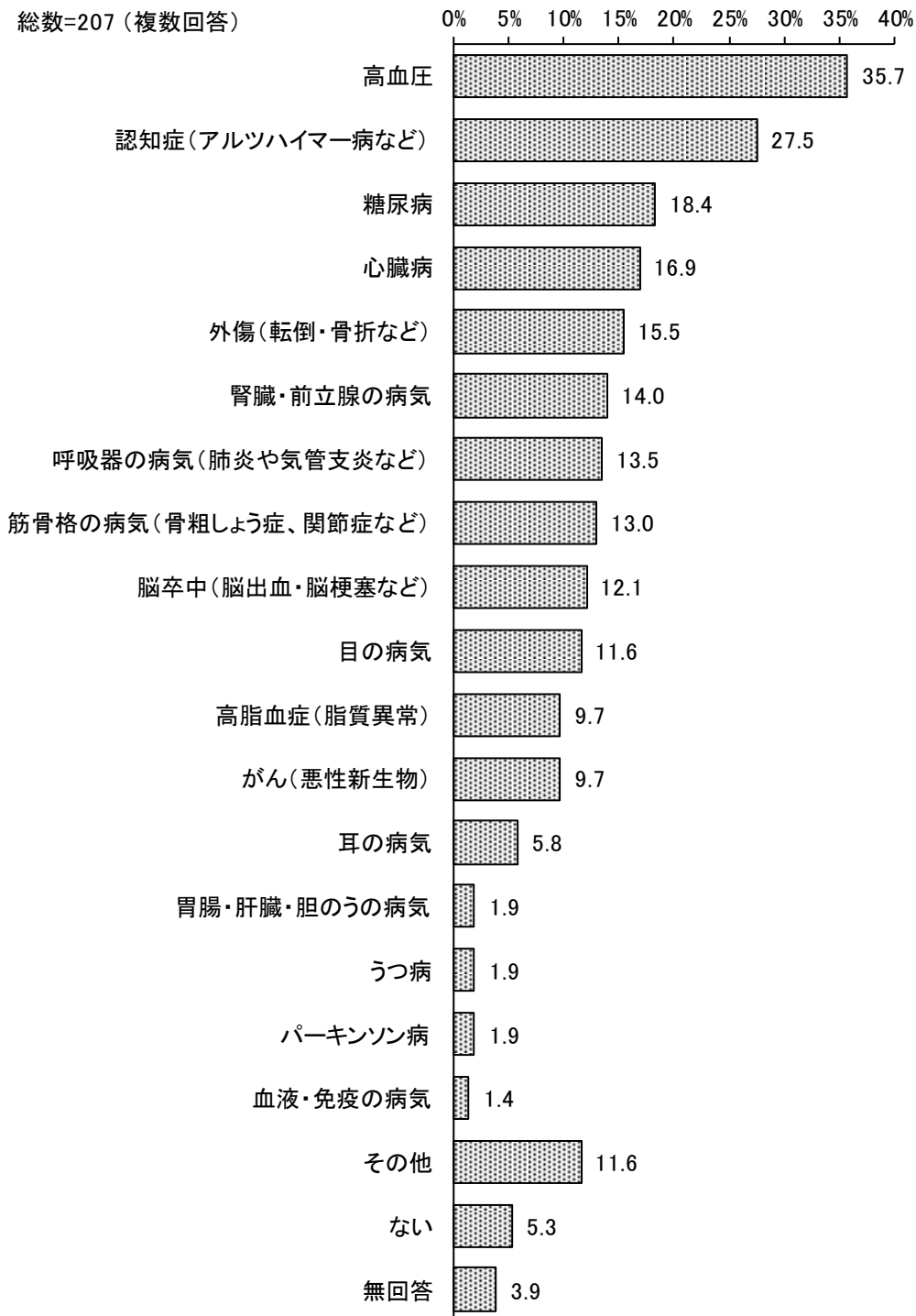
		全体	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1・2、 サービス事業 対象者	わからない	無回答
全体		207 100.0	87 42.0	36 17.4	17 8.2	21 10.1	18 8.7	9 4.3	4 1.9	15 7.2
性別・ 年齢階級	男性全体	81 100.0	32 39.5	14 17.3	6 7.4	10 12.3	4 4.9	7 8.6	1 1.2	7 8.6
	65～74歳	8 100.0	3 37.5	1 12.5	-	2 25.0	1 12.5	1 12.5	-	-
	75歳以上	73 100.0	29 39.7	13 17.8	6 8.2	8 11.0	3 4.1	6 8.2	1 1.4	7 9.6
	女性全体	122 100.0	55 45.1	21 17.2	11 9.0	10 8.2	14 11.5	2 1.6	3 2.5	6 4.9
	65～74歳	11 100.0	1 9.1	3 27.3	1 9.1	2 18.2	3 27.3	-	-	1 9.1
	75歳以上	111 100.0	54 48.6	18 16.2	10 9.0	8 7.2	11 9.9	2 1.8	3 2.7	5 4.5
無回答		4 100.0	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	2 50.0

### (3) 疾病の状況

問13 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「高血圧」が35.7%で最も高く、次いで「認知症(アルツハイマー病など)」が27.5%、「糖尿病」が18.4%となっている。

図表3-3-4 治療中又は後遺症のある病気の有無

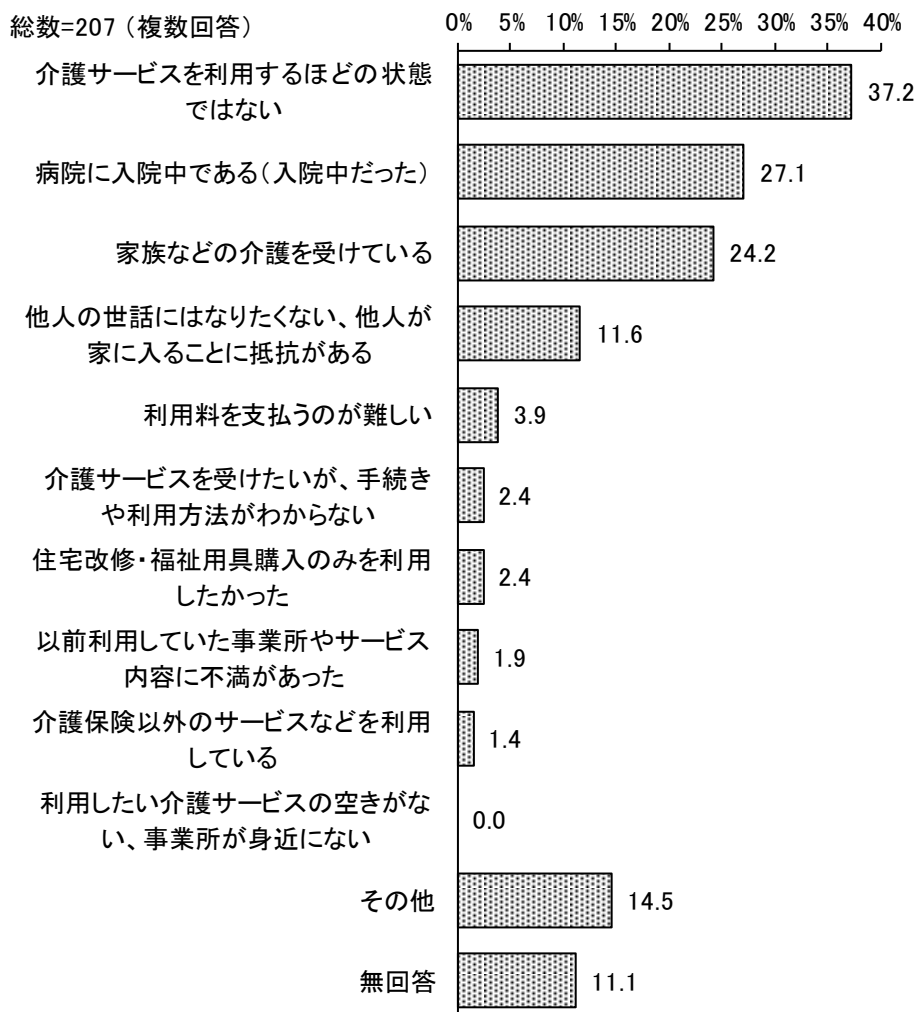


## (4) 介護サービスを利用していない理由

問14 令和元年8月に介護サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護サービスを利用していない理由は、「介護サービスを利用するほどの状態ではない」が37.2%で最も高く、次いで「病院に入院中である(入院中だった)」が27.1%、「家族などの介護を受けている」が24.2%となっている。

図表3-3-5 介護サービスを利用していない理由

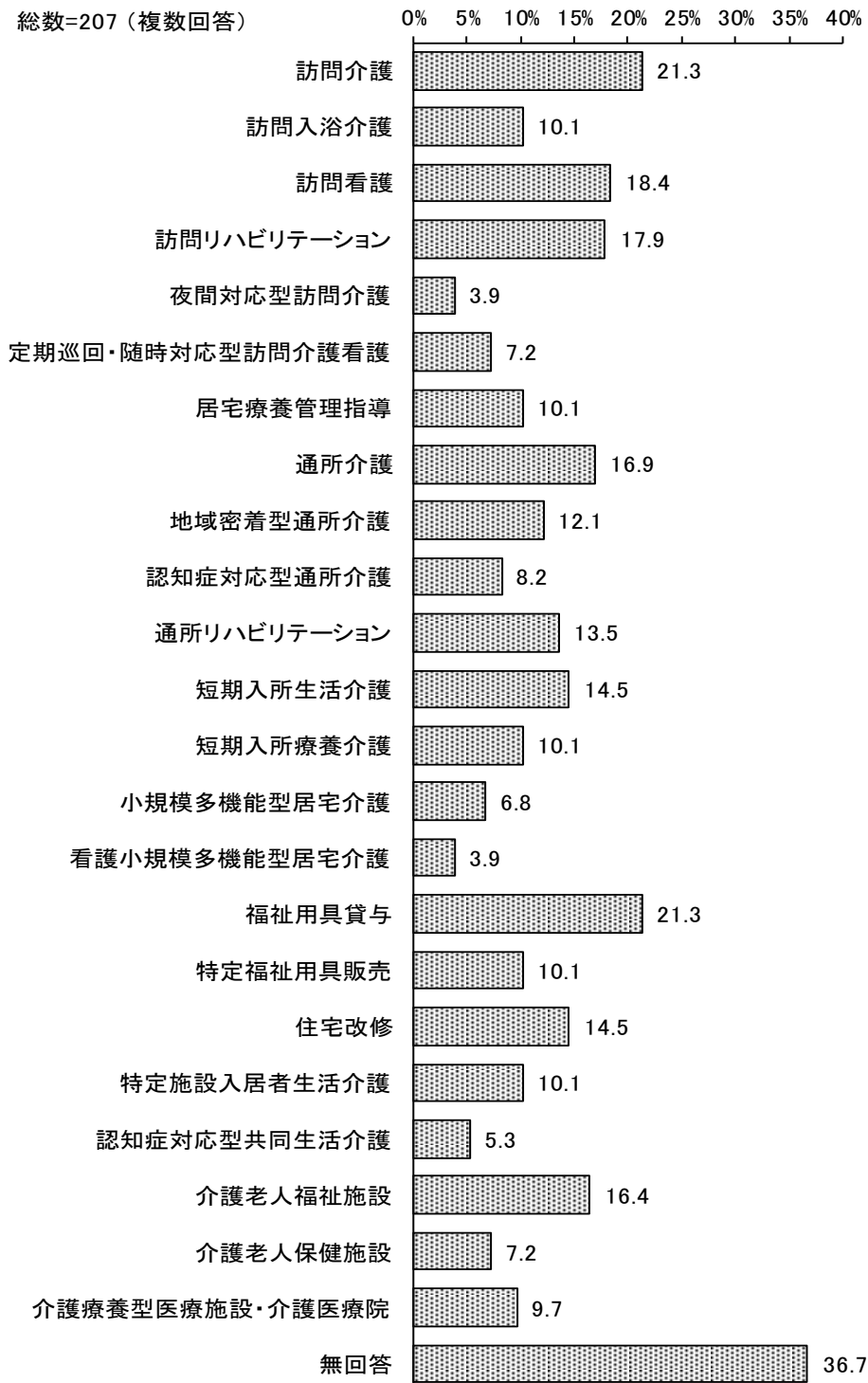


## (5) 介護サービスの利用意向

問15 今後、介護サービスを利用するご意向はありますか。利用したいと考えている介護サービスがありましたら、お答えください。(〇はいくつでも)

今後の介護サービスの利用意向は、「訪問介護」と「福祉用具貸与」が21.3%で最も高く、次いで「訪問看護」が18.4%となっている。

図表3-3-6 介護サービスの利用意向

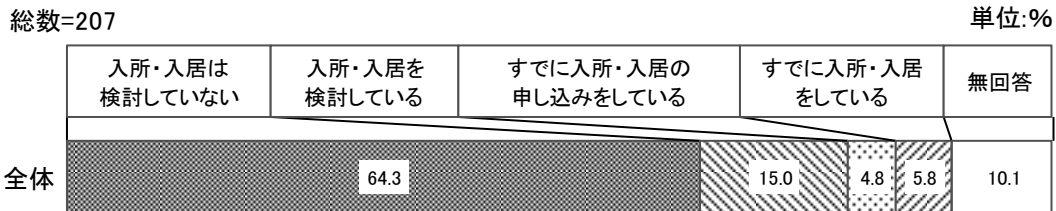


(6) 施設等への入所・入居の検討状況

問16 現在、施設等への入所・入居を検討していますか。(○は1つ)

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が64.3%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が15.0%、「すでに入所・入居をしている」が5.8%となっている。

図表3-3-7 施設等への入所・入居の検討状況



施設等への入所・入居の検討状況を性別でみると、「入所・入居は検討していない」は男性が77.8%、女性が57.4%で男性が女性を20.4ポイント上回っており、一方で「入所・入居を検討している」は男性が4.9%、女性が21.3%で女性が男性を16.4ポイント上回っている。

図表3-3-8 施設等への入所・入居の検討状況（性別・年齢階級別）

(上段：回答数、下段：構成比)

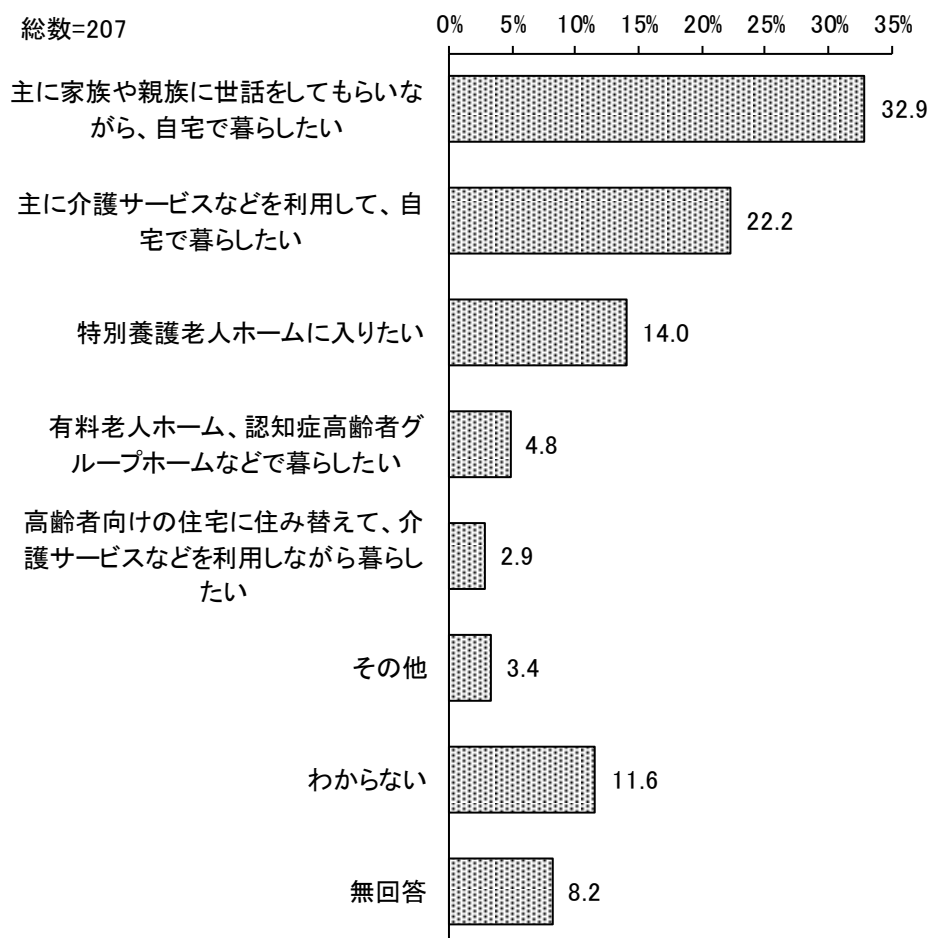
		全体	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	のす 申 し に 込 み を し 入 居	す で に 入 所 ・ 入 居 を し て い る	無回答
全体		207 100.0	133 64.3	31 15.0	10 4.8	12 5.8	21 10.1
性別・年齢階級	男性全体	81 100.0	63 77.8	4 4.9	4 4.9	3 3.7	7 8.6
	65～74歳	8 100.0	6 75.0	1 12.5	-	1 12.5	-
	75歳以上	73 100.0	57 78.1	3 4.1	4 5.5	2 2.7	7 9.6
	女性全体	122 100.0	70 57.4	26 21.3	6 4.9	9 7.4	11 9.0
	65～74歳	11 100.0	7 63.6	2 18.2	1 9.1	1 9.1	-
	75歳以上	111 100.0	63 56.8	24 21.6	5 4.5	8 7.2	11 9.9
無回答		4 100.0	-	1 25.0	-	-	3 75.0

## (7) 今後の暮らし方

問17 今後要介護度が重くなった場合、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方は、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」が32.9%で最も高く、次いで「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」が22.2%、「特別養護老人ホームに入りたい」が14.0%となっている。

図表3-3-9 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方



要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方を性別で見ると、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」は男性が39.5%、女性が29.5%で男性が女性を10ポイント上回っており、一方で「特別養護老人ホームに入りたい」は男性が9.9%、女性が17.2%で女性が男性を7.3ポイント上回っている。

図表3-3-10 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方  
(性別・年齢階級別)

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	主に家族や親族に世話をもらいながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい	有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
全体		207 100.0	68 32.9	46 22.2	6 2.9	10 4.8	29 14.0	7 3.4	24 11.6	17 8.2
性別・年齢階級	男性全体	81 100.0	32 39.5	19 23.5	2 2.5	3 3.7	8 9.9	1 1.2	8 9.9	8 9.9
	65～74歳	8 100.0	2 25.0	2 25.0	-	-	3 37.5	-	1 12.5	-
	75歳以上	73 100.0	30 41.1	17 23.3	2 2.7	3 4.1	5 6.8	1 1.4	7 9.6	8 11.0
	女性全体	122 100.0	36 29.5	26 21.3	4 3.3	7 5.7	21 17.2	6 4.9	15 12.3	7 5.7
	65～74歳	11 100.0	1 9.1	4 36.4	-	-	4 36.4	2 18.2	-	-
	75歳以上	111 100.0	35 31.5	22 19.8	4 3.6	7 6.3	17 15.3	4 3.6	15 13.5	7 6.3
無回答		4 100.0	-	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	2 50.0

要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方を家族構成別にみると、すべての家族構成で「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」と「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」を合わせた「自宅で暮らしたい」と回答した人の割合が最も高いが、中でも「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」が64.1%で最も高い。

図表3-3-11 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	主に家族や親族に世話をもらいながら暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用してしながら暮らしたい	高齢者グループホーム、認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全体	207	68	46	6	10	29	7	24	17
	100.0	32.9	22.2	2.9	4.8	14.0	3.4	11.6	8.2
家族構成	ひとり暮らし	41	11	9	2	3	9	2	5
		100.0	26.8	22.0	4.9	7.3	22.0	4.9	12.2
	夫婦のみ （配偶者も65歳以上）	68	22	14	1	3	8	2	9
		100.0	32.4	20.6	1.5	4.4	11.8	2.9	13.2
	夫婦のみ （配偶者は64歳以下）	3	1	-	1	-	-	-	1
		100.0	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3
	息子・娘と同居 （息子・娘も65歳以上）	9	2	2	-	1	3	-	1
	100.0	22.2	22.2	-	11.1	33.3	-	11.1	
息子・娘と同居 （息子・娘は64歳以下）	64	27	14	1	2	8	1	5	
	100.0	42.2	21.9	1.6	3.1	12.5	1.6	7.8	
その他	18	5	6	1	1	1	1	3	
	100.0	27.8	33.3	5.6	5.6	5.6	5.6	16.7	
無回答	4	-	1	-	-	-	1	-	2
	100.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	50.0



## 4 介護保険制度や保険料、利用料について

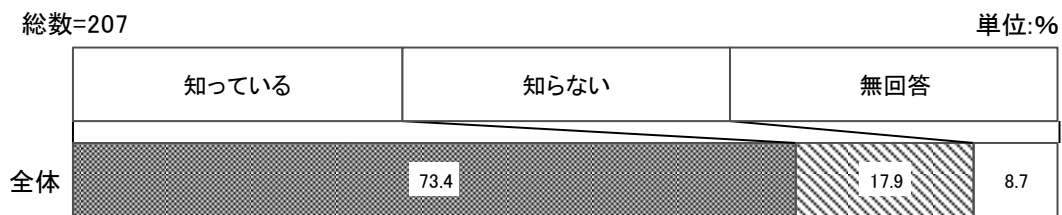
### (1) 介護保険制度の認知度

問18 介護保険制度について、以下のようなことを知っていましたか。(それぞれ〇は1つ)

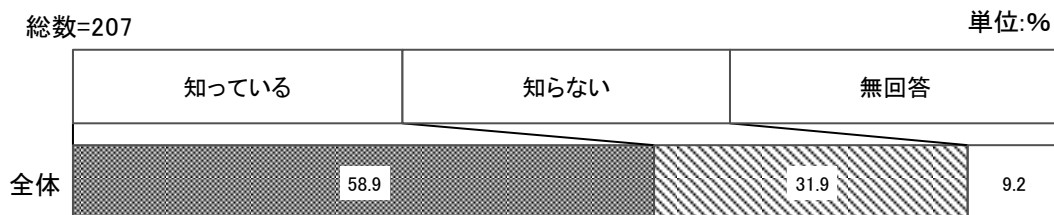
介護保険制度について「知っている」と回答した人の割合は、「サービス利用料の1割～3割を利用者が負担する」が73.4%で最も高く、次いで「福祉用具の貸与・購入や住宅改修の制度がある」が65.2%、「要支援・要介護認定には有効期限があり、更新申請が必要である」が58.9%である。

一方で、「知らない」と回答した人の割合は、「要支援・要介護度に応じた利用の上限がある。」が54.1%で最も高く、次いで「サービス事業者は、自由に選び契約することができる」が35.3%、「サービスを利用するためには、ケアプランの作成が必要である」と「自己負担額が一定額を超えると、払い戻しの制度がある」が33.3%となっている。

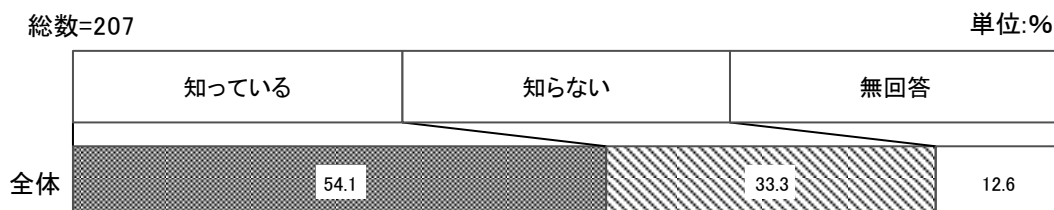
図表3-4-1 ①サービス利用料の1割～3割を利用者が負担する



図表3-4-2 ②要支援・要介護認定には有効期限があり、更新申請が必要である



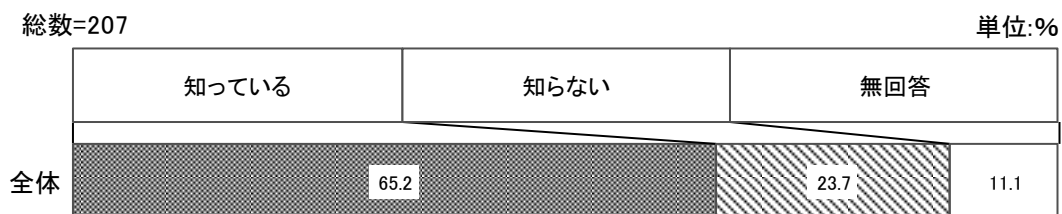
図表3-4-3 ③サービスを利用するためには、ケアプランの作成が必要である



図表3-4-4 ④サービス事業者は、自由に選び契約することができる



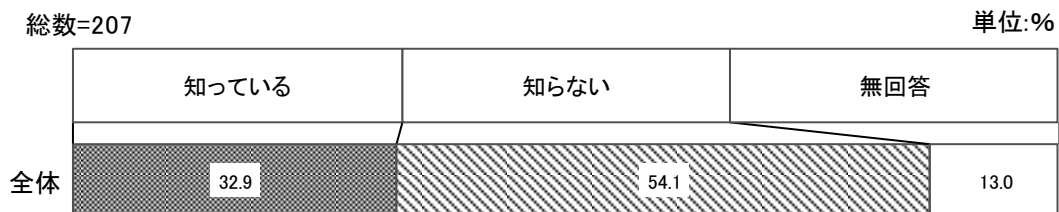
図表3-4-5 ⑤福祉用具の貸与・購入や住宅改修の制度がある



図表3-4-6 ⑥要支援・要介護度に応じた利用の上限がある



図表3-4-7 ⑦自己負担額が一定額を超えると、払い戻しの制度がある  
(高額介護サービス費など)

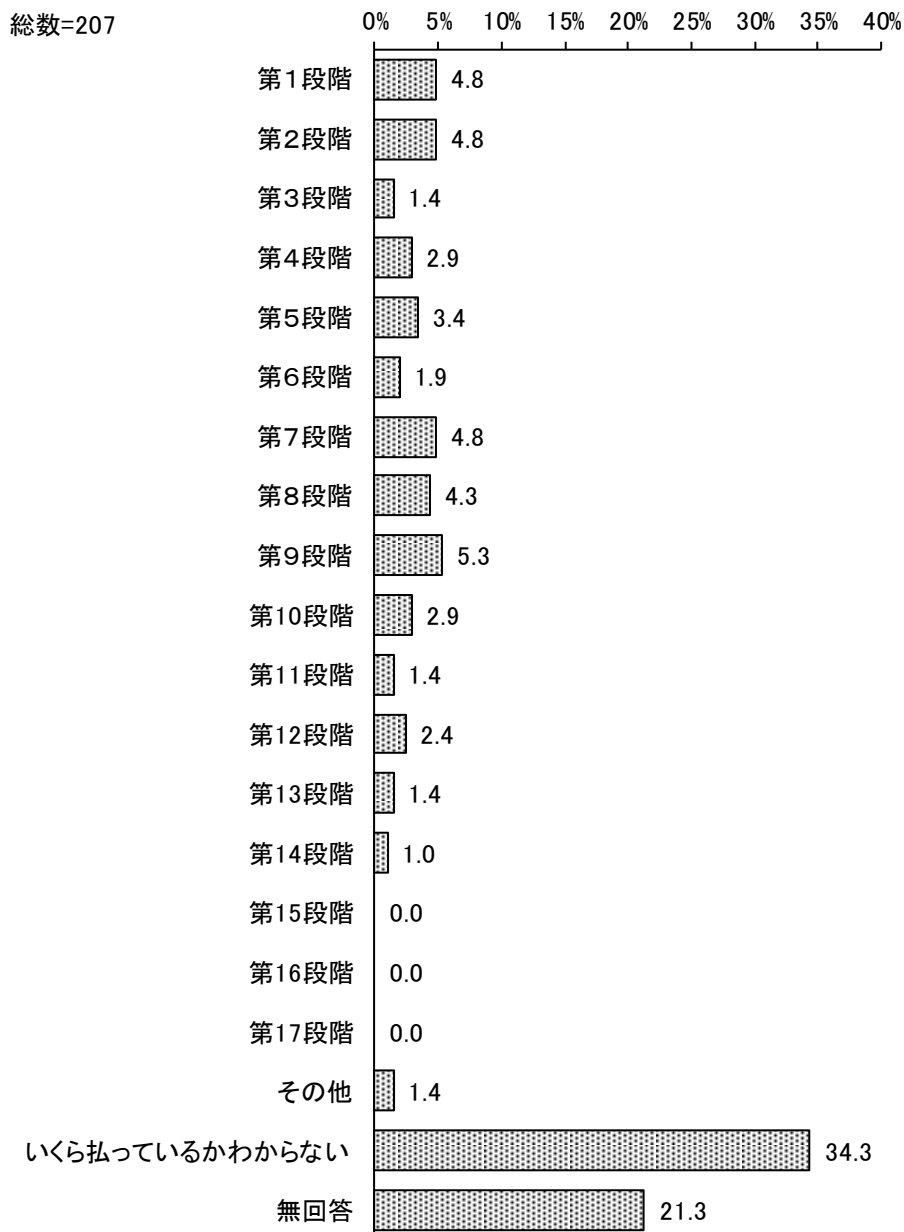


(2) 介護保険料の所得段階

問19 あなたの現在の介護保険料の所得段階は、どれに該当しますか。(○は1つ)

保険料の所得段階は、「いくら払っているかわからない」が34.3%で最も高く、次いで「第9段階」が5.3%、「第1段階」、「第2段階」、「第7段階」が4.8%となっている。

図表3-4-8 介護保険料の所得段階

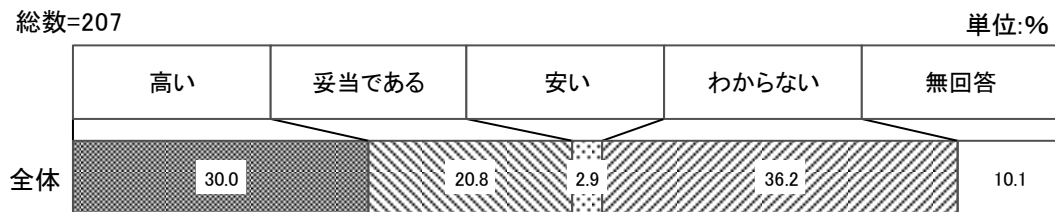


### (3) 介護保険料の負担感

問20 介護保険料について、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

「わからない」が36.2%で最も高く、次いで「高い」が30.0%、「妥当である」が20.8%となっている。

図表3-4-9 介護保険料の負担感

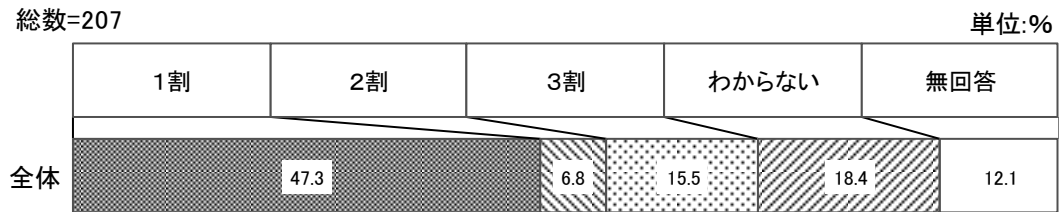


(4) 介護サービスの利用者負担割合

問21 あなたの介護サービスの利用者負担割合は、どれに該当しますか。(○は1つ)

利用者負担割合は、「1割」が47.3%で最も高く、次いで「わからない」が18.4%、「3割」が15.5%となっている。

図表3-4-10 介護サービスの利用者負担割合

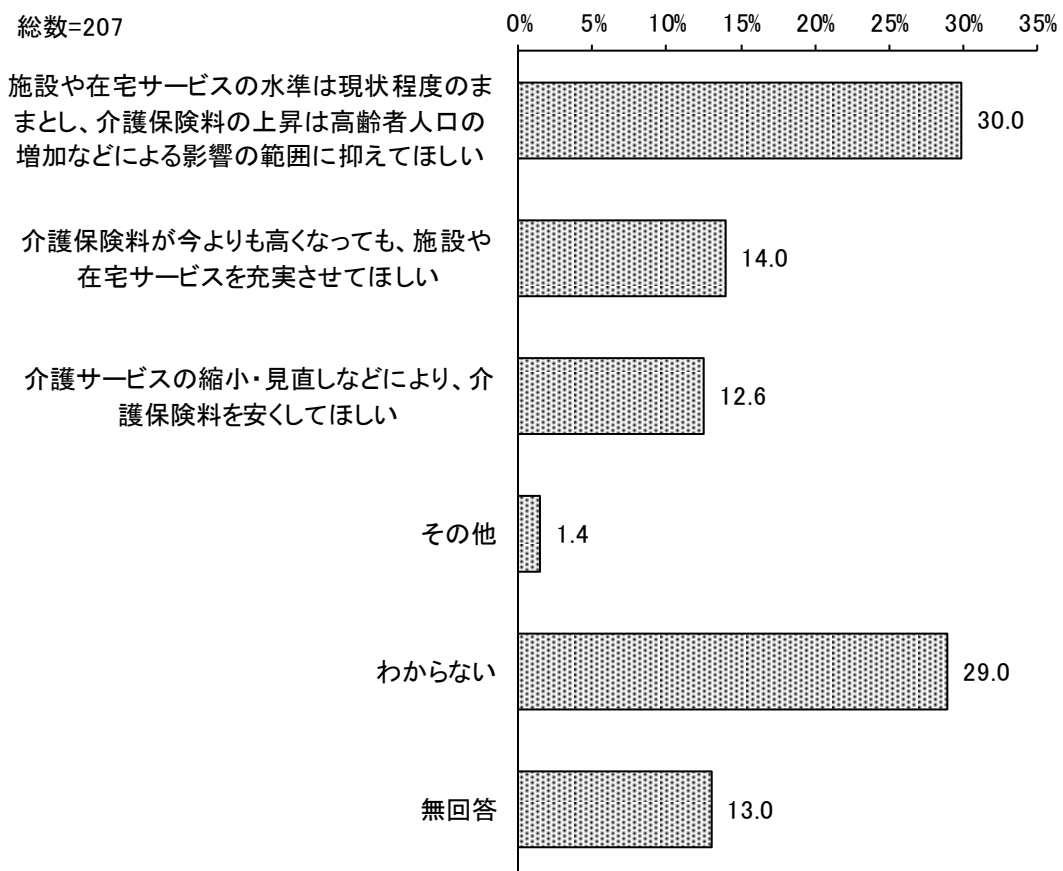


## (5) 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

問22 介護サービスと介護保険料の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

介護サービスと介護保険料の関係については、「施設や在宅サービスの水準は現状程度そのままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」が30.0%で最も高く、次いで「わからない」が29.0%、「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」が14.0%となっている。

図表3-4-11 介護サービスと介護保険料の関係についての考え



介護サービスと介護保険料の関係についての考えを要介護度別にみると、「施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」の割合が全体的に高い傾向にあるが、「要介護4」では「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」と「介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい」の割合が高くなっている。

図表3-4-12 介護サービスと介護保険料の関係についての考え（要介護度別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい	施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい	介護サービスにより、介護保険料を安くしてほしい	その他	わからない	無回答	
全体	207 100.0	29 14.0	62 30.0	26 12.6	3 1.4	60 29.0	27 13.0	
要介護度	要介護1	87 100.0	15 17.2	27 31.0	11 12.6	1 1.1	23 26.4	10 11.5
	要介護2	36 100.0	6 16.7	13 36.1	5 13.9	-	10 27.8	2 5.6
	要介護3	17 100.0	-	6 35.3	3 17.6	-	4 23.5	4 23.5
	要介護4	21 100.0	4 19.0	3 14.3	4 19.0	1 4.8	5 23.8	4 19.0
	要介護5	18 100.0	3 16.7	6 33.3	2 11.1	1 5.6	5 27.8	1 5.6
	要支援1・2、サービス事業対象者	9 100.0	-	2 22.2	1 11.1	-	6 66.7	-
	わからない	4 100.0	-	1 25.0	-	-	2 50.0	1 25.0
	無回答	15 100.0	1 6.7	4 26.7	-	-	5 33.3	5 33.3

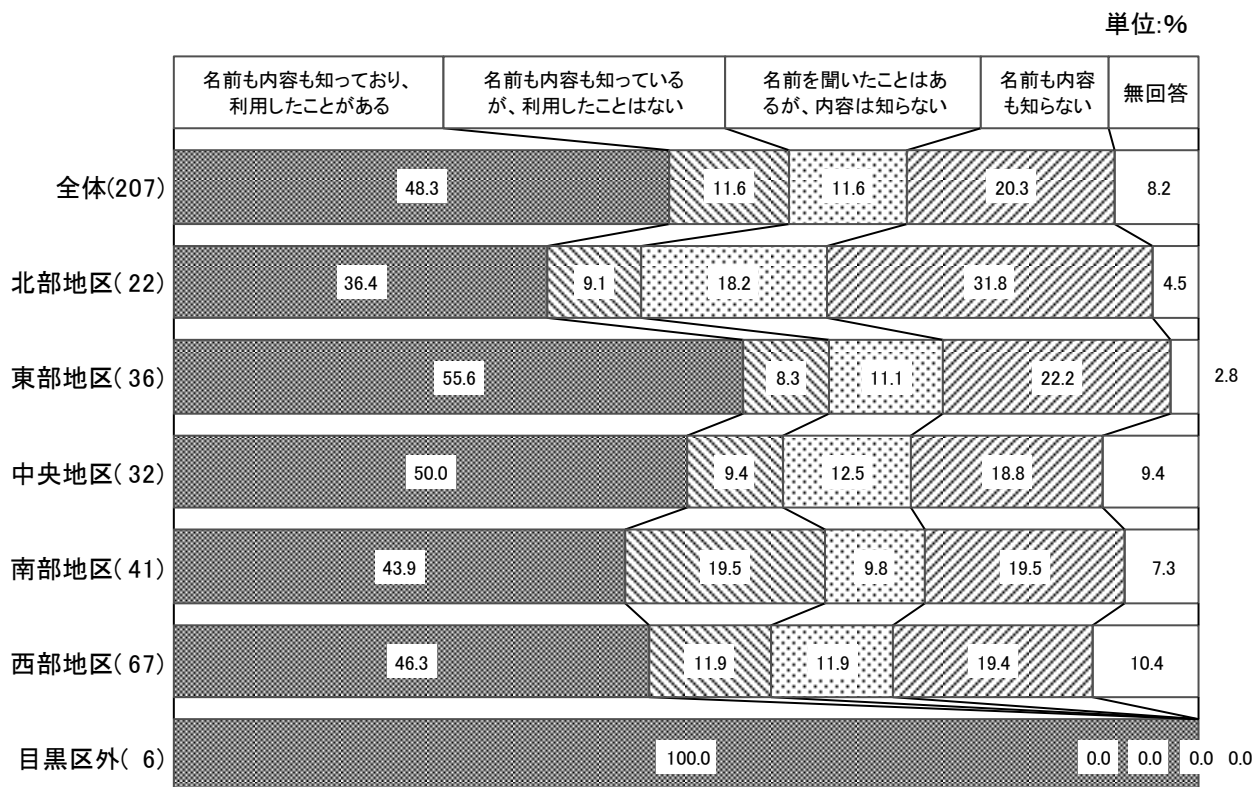
## 5 介護保険以外の高齢者在宅サービスなどについて

### (1) 地域包括支援センターの認知度

問23 目黒区では、区内5か所に保健福祉の総合相談窓口「地域包括支援センター」を設置しています。あなたは「地域包括支援センター」をご存知ですか。(〇は1つ)

地域包括支援センターについて、「名前も内容も知っており、利用したことがある」の割合が48.3%で最も高く、次いで「名前も内容も知らない」が20.3%、「名前も内容も知っているが、利用したことはない」と「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が11.6%となっている。また、「名前も内容も知っており、利用したことがある」と「名前も内容も知っているが、利用したことはない」を合わせた「内容まで知っている」と回答した人の割合は59.9%である。

図表3-5-1 地域包括支援センターの認知度



(居住地区が無回答の3人は掲載していない)

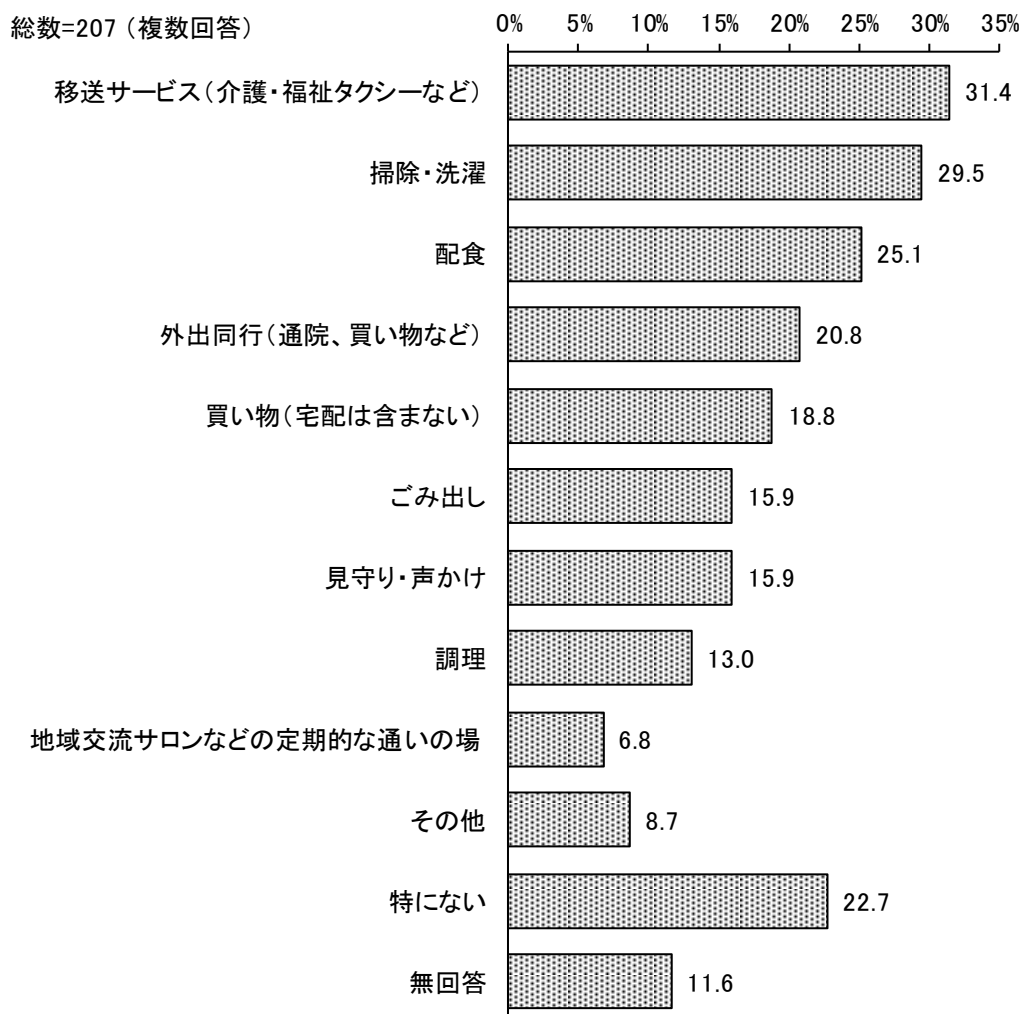


(2) 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス

問24 あなたは、自宅での生活を続けるためには、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が31.4%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が29.5%、「配食」が25.1%となっている。

図表3-5-2 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス



自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスを家族構成別にみると、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」では「夫婦のみ（配偶者も65歳以上）」が他の家族構成よりも高く、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」では「ひとり暮らし」が他の家族構成よりも高くなっている。

図表3-5-3 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

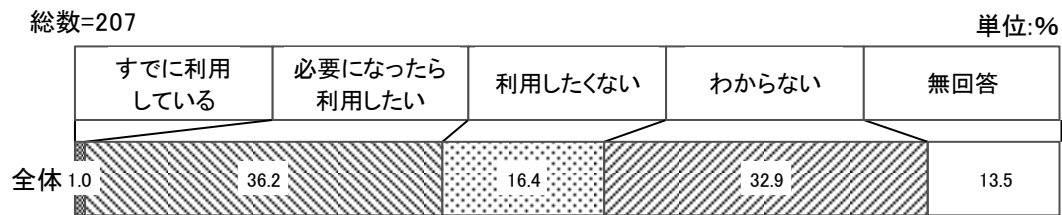
	全体	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	院、外出同行（買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシーなど）	見守り・声かけ	地域交流サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	
全体	207 100.0	52 25.1	27 13.0	61 29.5	39 18.8	33 15.9	43 20.8	65 31.4	33 15.9	14 6.8	18 8.7	47 22.7	24 11.6	
家族構成	ひとり暮らし	41 100.0	11 26.8	5 12.2	16 39.0	10 24.4	8 19.5	9 22.0	12 29.3	9 22.0	2 4.9	4 9.8	7 17.1	8 19.5
	夫婦のみ （配偶者も65歳以上）	68 100.0	20 29.4	10 14.7	23 33.8	11 16.2	13 19.1	20 29.4	25 36.8	6 8.8	3 4.4	7 10.3	15 22.1	5 7.4
	夫婦のみ （配偶者は64歳以下）	3 100.0	-	-	-	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3	-
	息子・娘と同居 （息子・娘も65歳以上）	9 100.0	4 44.4	2 22.2	5 55.6	3 33.3	2 22.2	2 22.2	5 55.6	2 22.2	1 11.1	1 11.1	2 22.2	-
	息子・娘と同居 （息子・娘は64歳以下）	64 100.0	12 18.8	9 14.1	15 23.4	10 15.6	7 10.9	7 10.9	16 25.0	14 21.9	7 10.9	4 6.3	18 28.1	8 12.5
	その他	18 100.0	4 22.2	1 5.6	1 5.6	4 22.2	1 5.6	4 22.2	5 27.8	1 5.6	1 5.6	1 5.6	4 22.2	1 5.6
	無回答	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	2 50.0

## (3) 成年後見制度の利用意向

問25 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたやご家族が、判断能力が十分でなくなってきたときに「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(〇は1つ)

成年後見制度について、「必要になったら利用したい」が36.2%で最も高く、次いで「わからない」が32.9%、「利用したくない」が16.4%となっている。

図表3-5-4 成年後見制度の利用意向

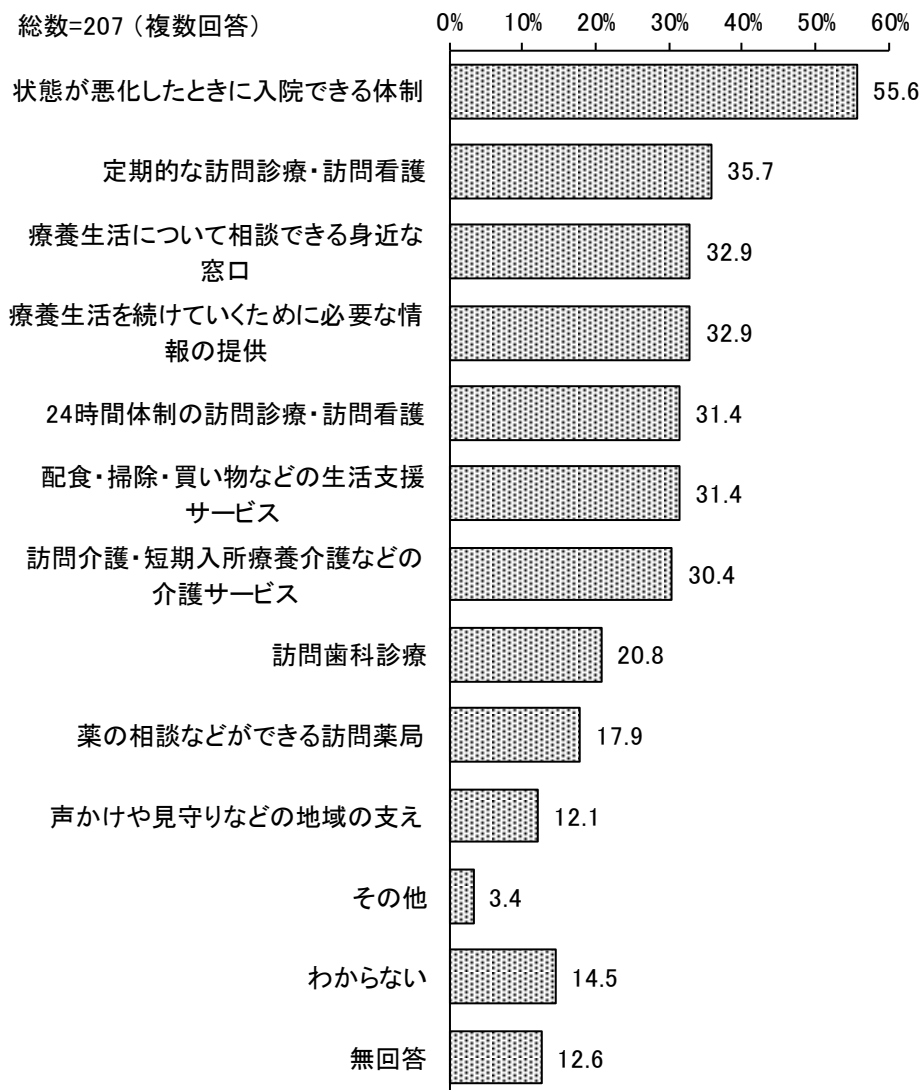


#### (4) 在宅療養のために必要だと思うサービス・体制

問26 あなたは、要介護度が重くなったり病気の後遺症などにより長期間の療養が必要になったときに、自宅で生活をするためには、どのようなサービスや体制が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

在宅療養のために必要なサービス・体制は、「状態が悪化したときに入院できる体制」が55.6%と最も高く、次いで「定期的な訪問診療・訪問看護」が35.7%、「療養生活について相談できる身近な窓口」と「療養生活を続けていくために必要な情報の提供」が32.9%となっている。

図表3-5-5 在宅療養のために必要だと思うサービス・体制

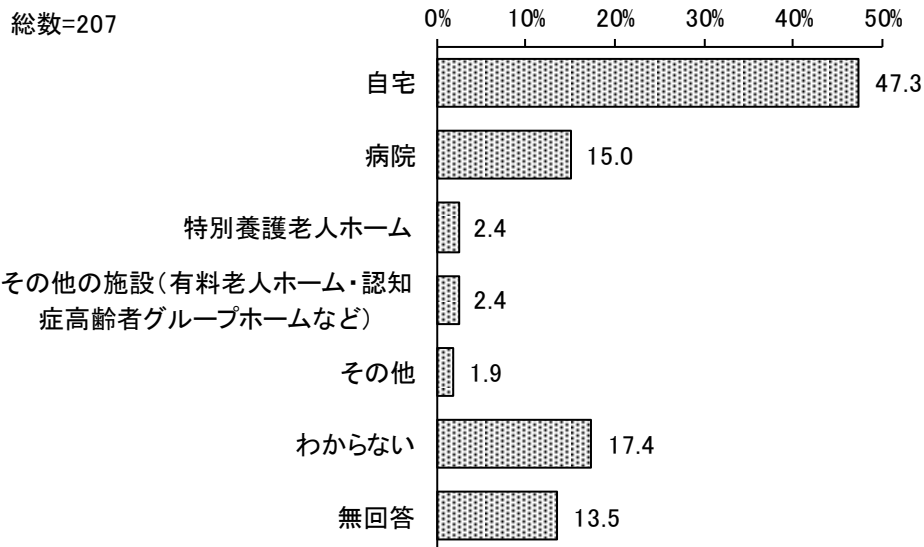


(5) 人生の最期を迎えたい場所

問27 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」の割合が47.3%で最も高く、次いで「わからない」が17.4%、「病院」が15.0%となっている。

図表3-5-6 人生の最期を迎えたい場所



図表3-5-7 人生の最期を迎えたい場所(家族構成別)

(上段：回答数、下段：構成比)

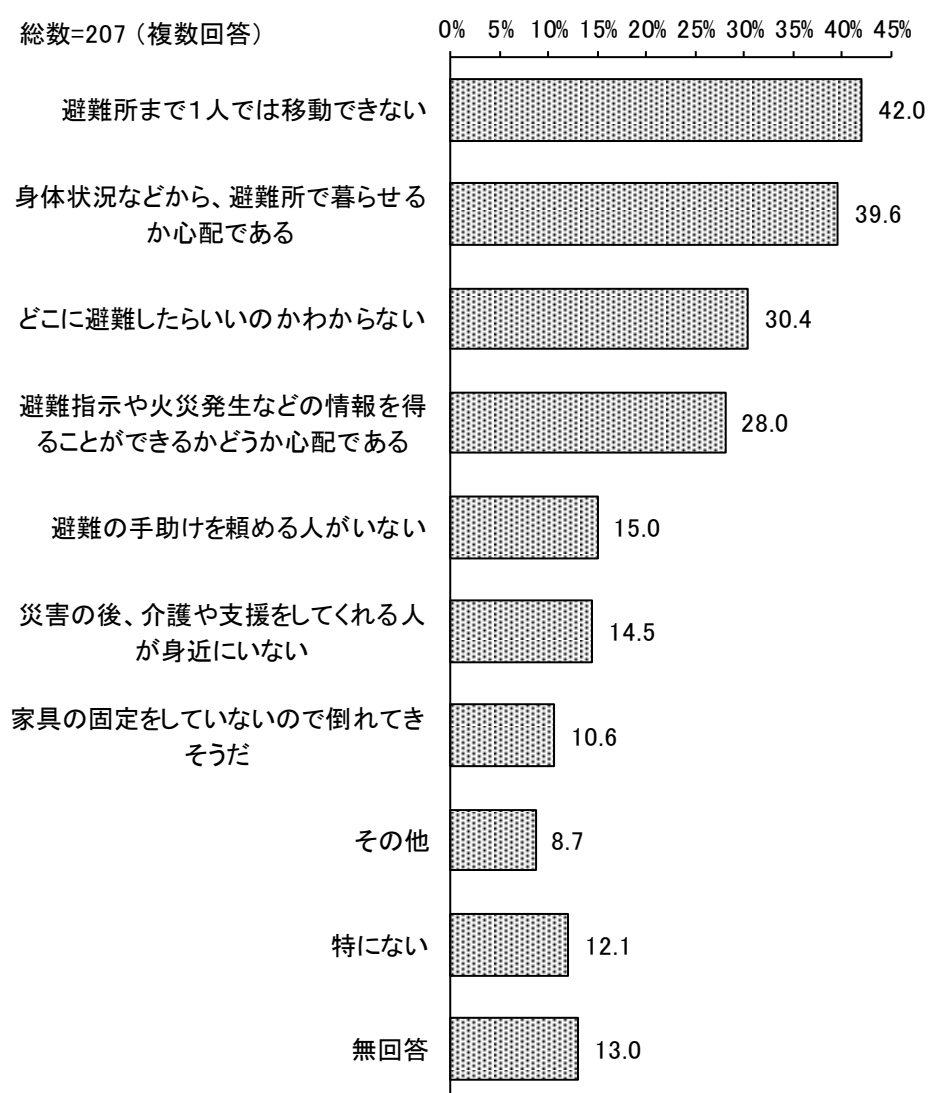
		人生の最期を迎えたい場所							
		全体	自宅	病院	特別養護老人ホーム	その他の施設(有料老人ホーム・認知症高齢者グループホームなど)	その他	わからない	無回答
全体		207 100.0	98 47.3	31 15.0	5 2.4	5 2.4	4 1.9	36 17.4	28 13.5
家族構成	ひとり暮らし	41 100.0	14 34.1	11 26.8	1 2.4	1 2.4	1 2.4	9 22.0	4 9.8
	夫婦のみ (配偶者も65歳以上)	68 100.0	33 48.5	10 14.7	1 1.5	3 4.4	2 2.9	7 10.3	12 17.6
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	1 33.3	-
	息子・娘と同居 (息子・娘も65歳以上)	9 100.0	6 66.7	1 11.1	-	-	-	2 22.2	-
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	64 100.0	33 51.6	5 7.8	3 4.7	1 1.6	-	12 18.8	10 15.6
	その他	18 100.0	7 38.9	4 22.2	-	-	1 5.6	4 22.2	2 11.1
	無回答	4 100.0	3 75.0	-	-	-	-	1 25.0	-

## 6 災害時の対策について

問28 災害時（地震や風水害等）や火災などの緊急時の対応について、不安なことはありますか。（〇はいくつでも）

緊急時に不安なことは、「避難所まで1人では移動できない」が42.0%で最も高く、次いで「身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である」が39.6%、「どこに避難したらいいのかわからない」が30.4%となっている。

図表3-6-1 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと



緊急時に不安なことを家族構成別にみると、「どこに避難したらいいのかわからない」、「避難所まで1人では移動できない」では「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」が他の家族構成よりも高く、「避難の手助けを頼める人がいない」、「災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない」では「ひとり暮らし」が高くなっている。

図表3-6-2 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	どこに避難したらいいのかわからない	避難指示や火災発生などの情報を得ることができず、かどうか心配である	家具の固定をしていないので倒れてきそう	避難所まで1人では移動できない	避難の手助けを頼める人がいない	身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である	災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない	その他	特になし	無回答	
全体	207 100.0	63 30.4	58 28.0	22 10.6	87 42.0	31 15.0	82 39.6	30 14.5	18 8.7	25 12.1	27 13.0	
家族構成	ひとり暮らし	41 100.0	10 24.4	11 26.8	3 7.3	15 36.6	8 19.5	15 36.6	10 24.4	3 7.3	6 14.6	5 12.2
	夫婦のみ (配偶者も65歳以上)	68 100.0	20 29.4	17 25.0	8 11.8	24 35.3	8 11.8	27 39.7	11 16.2	6 8.8	10 14.7	11 16.2
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	3 100.0	-	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-
	息子・娘と同居 (息子・娘も65歳以上)	9 100.0	4 44.4	4 44.4	1 11.1	5 55.6	3 33.3	6 66.7	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	64 100.0	23 35.9	19 29.7	8 12.5	32 50.0	9 14.1	27 42.2	5 7.8	5 7.8	6 9.4	8 12.5
	その他	18 100.0	5 27.8	5 27.8	1 5.6	7 38.9	2 11.1	4 22.2	1 5.6	1 5.6	1 5.6	3 16.7
	無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	-	-

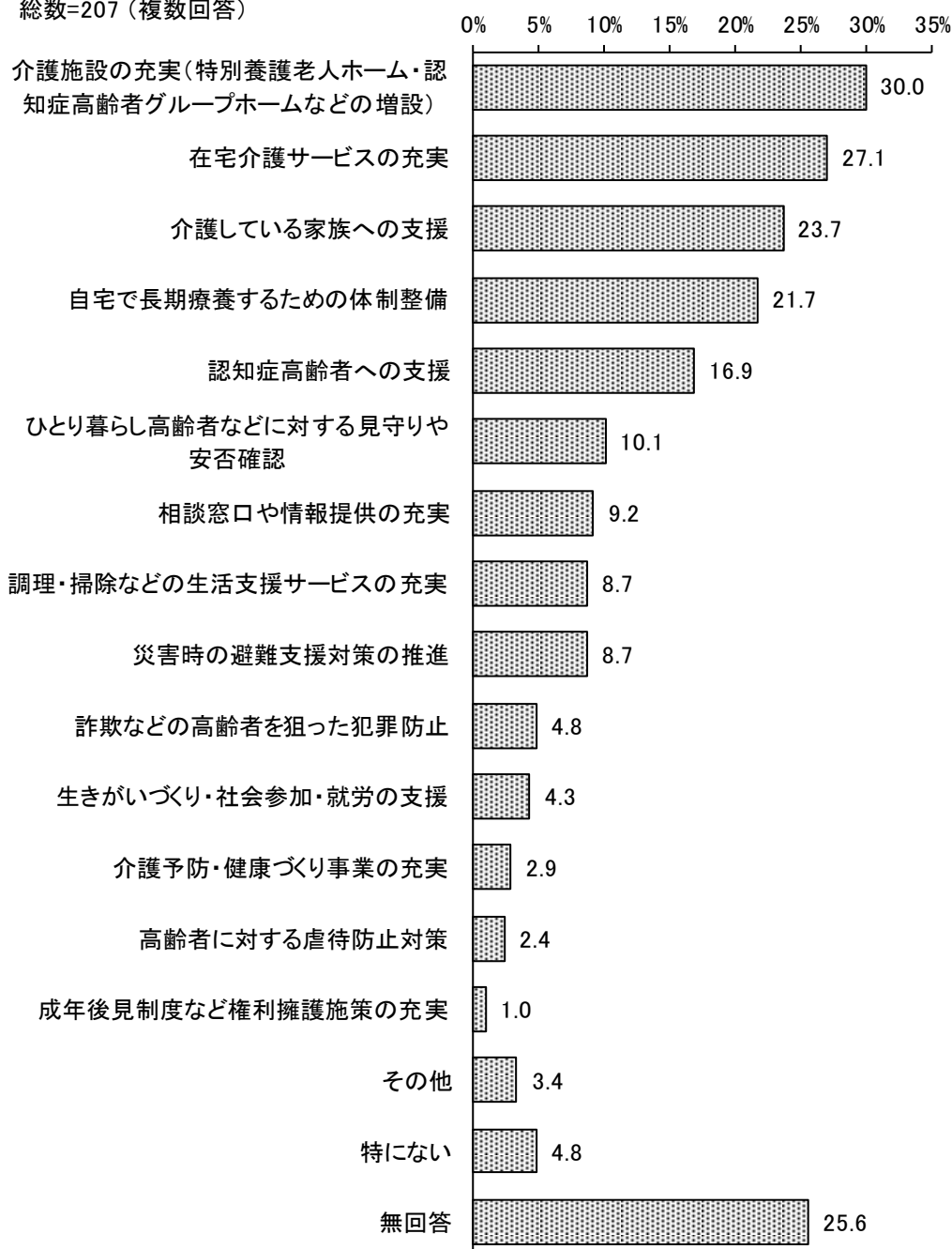
## 7 高齢者施策全般について

問29 目黒区において、これからの高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

区で優先して取り組む必要があると思う高齢者施策は、「介護施設の充実（特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどの増設）」が30.0%で最も高く、次いで「在宅介護サービスの充実」が27.1%、「介護している家族への支援」が23.7%となっている。

図表3-7-1 区で優先的に取り組む必要があると思う高齢者施策

総数=207（複数回答）



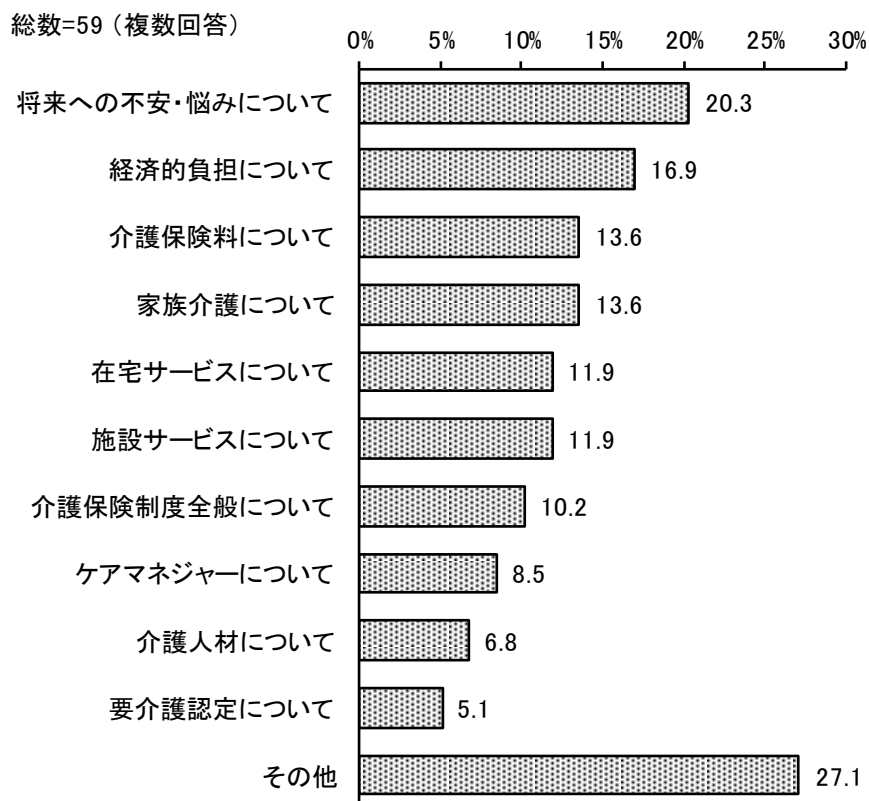


## 8 自由意見

問30 目黒区の介護保険・高齢者福祉行政に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。はじめに、1～11のあてはまる項目に○を付け（○はいくつでも）、その項目についてのご意見・ご提案をお聞かせください。

区に対する意見・提案の内容は、「将来への不安・悩みについて」が20.3%で最も高く、次いで「経済的負担について」が16.9%、「介護保険料について」と「家族介護について」が13.6%となっている。

図表3-8-1 自由意見



次ページ以降では、各項目について、原文の文意が損なわれないよう抜粋して記載した。

## 介護制度全般について

- 利用する時に手間がかかる。急な変化や緊急の時に、利用したくてもケアマネジャーなどいろいろな条件が揃わないと利用できない。結局、家族の自力でなんとかする事になるので、保険料を払っているだけの現状。
- 今後絶対に使える機会のない介護保険の保険料を払わせられ続けている。それならば、入院中の病院（神奈川県内）から時折、介護タクシーで気晴らしに短時間観光外出する費用に介護保険料を使えるような仕組みを考えてほしい。
- 目黒区に長期間納税した人、90才以上で希望する人には区立の特養に優先して入れるようにしてほしい。

## 介護保険料について

- 現状やや高額。
- とにかく、保険料が高い。
- 介護保険料が今後増加することが心配です。

## 要介護認定について

- 認定調査員の力量が人によってかなり違うように思えます。委託の場合に特に感じます。かなり年齢が行った方がいたりして。認定調査はせめて若い人にしてほしいし、良く勉強してほしいと思う。
- 基準がわかりにくい。

## 在宅サービスについて

- ヘルパーさんが気持ち良くやってくれるので、心の平穏を保つのに役立つように思います。ヘルパーさんはこの1時間の中で複雑な報告書も書くので時間が足りません。報告書をもっと簡素に出来ないでしょうか。
- ヘルパーさんの時間が1時間と制限されていること。短い。
- ヘルパーにどこまで手伝ってもらえるのか、時間帯によって変わるので困る。
- 通院で自宅～病院間を介護タクシー利用。院内移動の車椅子使用時に、車椅子を押してくれる人が介護保険で利用できたらありがたいです。

## 施設サービスについて

- 特養に入れず困っています。老健にも断られました。区の施設を充実してほしい。
- 食事の準備が大変になって来たので、食べる事に心配のない施設（特養ホーム）など増えてほしい。
- ディサービスは表向きと中身では大分違うところがある。特に大きなところで立派な機

具があっても殆ど使われていないなどがあり、費用も疑問でした。

- とにかく23区の施設が少なすぎる。
- 区内に介護施設が極端に少ないと聞いています。施設の増設を希望します。

### ケアマネジャーについて

- ケアマネジャーさんはよく相談にも乗ってもらえますし的確なアドバイスもくれます。また、受け持ちの介護状態の話などが聞けるのは、現在の自分の状態を認識でき安心につながります。
- 誰が優れたケアマネジャーかがわからない。その人によって随分と能力が違うように思う。
- ケアマネジャーさんの訪問は2ヶ月に1回で良いと思う。

### 介護人材について

- 認知症患者は今後増加すると言われており、区立の施設での介護人材の確保を始め外国人労働者の介護への人材育成には特に力を入れる必要がある。
- 専門知識の学習。自分の尺度ではない各家庭、個人に沿ったサービス、接し方はどのようにすれば良いのか。常識ある判断のできる人材の育成。
- 介護レベルは高い。

### 経済的負担について

- 我が家は3人家族です。年金とパートの収入だけなので大変厳しいです。
- 高齢で働けなくなり年金も少なく経済的負担が心配です。
- 介護の必要な両親と叔母の3人抱えていて、経済的に父母たちのお金ではまかなえません。私たちも年金暮らしなので3人の介護の負担が非常に大きいです。
- 経済的負担はとても本人が不安になるところ。一人で暮らしていたとしたら、今以上に不安になると思います。
- 2年間に2ヶ月近くの入院を2回。年金生活のため、入院費、手術費の支払いに困った。

### 将来への不安・悩みについて

- 現在は自分で病院、買物等に行っていますが、身体に変化があった場合心配です。老人ホームで生活できれば嬉しいです。
- 目黒区内に私が入ろうと思う老人ホームがありません。娘が神奈川地区におりますので、近くの有料老人ホームなど考えています。
- 難病の手続きをと言われていています。今は一人での外出は不可ですが、これからの事を思うと不安です。

## 家族介護について

- 80才を手前にして老々介護を迎えており、介護する妻が倒れた時が不安です。すべて介護を受けると2割負担となり、介護にかかるお金が大きく不安を感じます。
- 介護している家族への肉体的、金銭的、精神的支援が必要だと思います。
- 病状が酷くなると家族が家族を見ることは不可能だと思います。
- 介護している家族は精神的負担がすごくあると思います。老々介護になればなおさらです。私の場合は、仕事との両立が無理になり退職しました。
- 我が家は娘三人で在宅（入院するまで）で介護をしておりましたが、これからは少子化時代でもあり、子どもたちの世代に期待するのは大変難しいことでしょう。

## その他

- 高齢者ドライバーの事故について。（目黒区だけでなく）70才以上の免許を取り消し、生活に必要な時のタクシー乗車券（割引制、老人なら何才以上何%とか）を発行してほしい。
- 若年性認知症の進行が速い患者の対応ができていない。重度になると扱いが困難になります。